

経営理念(企業価値を示すもの)

医薬品の製造販売を通じて、大衆の疾病の予防と治療、健康の増進に寄与すべき社会的責任を果たした優れた医薬品と優れた従業員によって、培われる信用を基盤として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
 2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入
 人はいつの時代も健康を幸福の基と願ひ暮らしてきました。広貫堂は、明治9年の創業以来130年「健康を考える企業」を目指して健康に役立つ医薬品の研究と開発に取り組んでまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

第一四半期における経常利益は計画比23百万円余の減少となっています。これは、売上高計画比101.8%と目標は達成しているものの売上原価が計画比103.2%と増加し、また販売管理費も計画比102.4%と若干増加したものが、利益を減少させました。
 広貫堂本体の売上高対経常利益率は6.4%となり、今期目標の5%以上を確保しています。
 第二四半期以降においては、グループ各社および部門において利益を圧迫する課題・問題を明確にし対策を講ずると共に売上向上の施策に早急に取り組む計画実現に向けて取り組んでまいります。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- ①薬都広貫堂の売上高減少に伴う短期的な改善施策を立案し、これを実行するための製品や販売計画などを早急に立案し対応いたします。
- ②広貫堂メディフーズにおいては、顧客創造のための顧客別カテゴリー別のSB製品の市場調査と製品企画を立案し、マーケティング本部との連携による製品開発に着手いたします。
- ③2025年の広貫堂のあるべき姿、市場環境、などを考慮したビジョンおよびシミュレーションを作成し、そのために今年やること、来年以降の中期計画の作成に着手いたします。
- ④製品開発を短期及び長期の流通別に分けた計画で立案し、研究開発体制の再構築に着手いたします。そのための人材確保と育成、異動の計画を立案いたします。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ①弊社の協力会社でつくる「ふくら雀会」の総会が開催され、塩井代表が業界の現況と弊社の概況について説明し、総会後の懇親会や翌日のゴルフコンペで関係強化を確認いたしました。
- ②富山シティFMと弊社が共同で六神丸誕生の物語「あと一つ」を放送しました。その特番に塩井代表が出演し、過去の配置の歴史や現代の課題などを作者と対談し好評を得ました。
- ③富山県警察本部から、交通安全の優良推進事業所として表彰を受けました。
 今後とも、表彰に恥じないように交通安全の推進と飲酒運転の撲滅に協力してまいります。
- ④富山県より男女共同参画推進事業所として、継続しての認証を受けました。これからも男女公平公正に能力の向上に努め、推進事業所にふさわしい仕組みを構築してまいります。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ①登録販売士制度の受験等のガイドラインなども順次決定され、弊社においても薬販販売を中心とした対応方法を検討し、多くの資格者が誕生するよう準備を進めています。
- ②第93回株主総会が開催され、全ての議案が承認されました。常勤監査役に城石前CFOが就任し、社外監査役に崎谷幸生氏、桶屋泰三氏が就任、佐伯康博氏は重任され、新しい監査役会が発足いたしました。また、取締役は、全員再任されました。
- ③新しい部署として医薬品事業部がスタートいたしました。早速、グローバル戦略や製剤技術の向上のための行動プランを立案し、具体的な行動を展開しています。その一貫として当社として始めて東京で開催されたインターフェックスジャパンに出店し、多くの商談などに対応いたしました。
- ④第一四半期のグループ経営会議を開催し、グループ各社の役員および本社各部門責任者が第一四半期を総括しました。会議の後、懇親会を開催し、親交を深め決意を新たに致しました。

個別業績の概況

単位:千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	10,011,503	10,330,445	9,990,252	2,495,390
総資産	15,329,125	15,356,391	14,803,939	16,669,836
経常利益	507,719	836,162	768,977	158,613
当期純利益	291,237	511,162	434,693	158,613

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

家庭配置薬の卸販売を通じ、人々の健康に寄与出来る製品を主体とし、社会に求められる製品を開発・導入し、公衆の健康維持をとおし社会に貢献できる企業を目指す。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

昨年、(株)廣貫堂の配置薬卸部門を分社化し、配置市場を通じての社会貢献と配置市場でのスペシャリストとして業界から求められる企業として設立いたしました。廣貫堂の配置販売業者様は勿論のこと、全国の配置業者様の仕入先として、富山支店、東京支店を拠点とした営業展開を実施しております。また、配置市場に求められる製品を(株)廣貫堂マーケティング戦略本部と連携して製品の開発と導入を目指しており、今年度も、新たに医薬品、健康補助食品の発売を予定しております。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

経営課題として5つを掲げ実施を図っています。

- ①、取引先別の営業戦略の立案と実施
- ②、動態調査を始めとした調査を常時作成
- ③、懸場帳の保全
- ④、取引先に対して経営的なアドバイス能力取得
- ⑤、改正薬事法に対応できる社員の資質向上
- ⑥、お客様が求める商品の導入

今後の制度改革及び法改定に対する対応と共に業界のリーダーシップを如何無く発揮できる組織と社員作りを目指しています。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

配置販売業界では、改正薬事法の施行により、平成20年春頃には登録販売者資格試験が実施されます。これに向けて当社では、(株)廣貫堂と連携して、受験に対する研修会、資料づくりを始めており、営業担当社員全員が合格をめざして取り組んでいます。6月には第一回勉強会を行ないました。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- 1、6月22日の第一回定時株主総会並び取締役会において4人の役員が選任されました。
代表取締役社長 正川康明、取締役(営業本部長兼富山支店長) 西野嘉洋、
取締役(株)廣貫堂取締役) 小紙司、取締役(株)廣貫堂執行役員) 大野正広、
- 2、第一四半期での新製品として、健康補助食品DHA+EPA、清涼飲料すだちみっく酢ファイバー、健康補助食品Q10+アスタキサンチン、を発売しました。

個別業績の概況

単位:千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高 (千円)			5,268,467	1,187,588
総資産 (千円)			2,289,791	2,438,183
経常利益 (千円)			40,953	-32,615
当期純利益 (千円)			33,347	-32,615

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

医薬品の配置販売を通じて、お客様の疾病の予防と治療、健康へのお役立ちをいたします。常に変革と改革に挑戦し進化する経営を目指し社業の発展を目指します。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入
『富山の置き薬』として300年以上の歴史を有し全国に広く知れ渡っております。いつもご家庭の救急箱として身近に置いていただき、健康維持のお役立ちをさせていただいております。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

①取扱製品の主体は、健康食品への過度な依存体質から配置廣貫堂の配置販売会社としての自主製品を主体に変えた。②基本的な経営手法は、『訪販的な物売り』から配置の基本である『入替』に変えた。③人事政策は、組織的な人を育てる目的で人事異動を多くして本社の人的交流を図った。④間接事務業務の集中化を図る為に、事務センターを設置した。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- i) ①主要6品目(サンリキソドリンク、葛根等内服液、ファイトローヤル、六神丸、熊の胆、パナワン)の一人の一人担当者500千円/月の推進
②入れ替え品目の一人担当者500千円/月の推進
③健康食品一人担当者250千円/月の推進この基本モデルの徹底を図る。
- ii) 客先在庫の棚卸思想の徹底を図り、無駄な仕入を削減して交換薬を少なくする。
- iii) 効率の悪い営業所の統廃合を行う。iv) 買い帳面の市場投入管理を改善して、売上寄与スピードを上げて行く。v)モチベーションの基本の給与体系は、単品歩合から総合粗利益評価へ変更する。以上の主要な政策遂行を行って、計画損益を達成し過去の負の遺産を一掃して行く。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ①19年度第一回全国所長会議 4月21日～22日 世田谷営業所にて
- ②第一回薬販取締役会 4月24日 本社2階会議室にて
- ③第3回定時株主総会 6月24日 本社2階会議室にて
- ④第二回薬販取締役会 6月24日 本社2階会議室にて
- ⑤横浜営業所立上げ 6月25日 横浜市港北区新吉田町5640-1
- ⑥千葉営業所移転 6月25日 松戸市松戸新田592 オフィス土屋内

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

第3回定時株主総会(6月26日)
第1号議案 第3期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
計算書類承認の件
第2号議案 取締役4名選任の件
第二回薬販取締役会
第1号議案 代表取締役および役付取締役選定の件について
第2号議案 株主総会および取締役会における、職務代行者の順位決定の件について
全議案承認されました。

個別業績の概況

単位:千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	1,974,137	1,873,070	1,546,959	415,337
総資産	1,013,754	1,024,367	943,770	950,006
経常利益	74,409	-101,512	-305,205	-31,522
当期純利益	60,999	-124,431	-306,640	-31,522

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

- ・コンシューマ事業を通じて、大衆の疾病の予防と治療、健康の増進に寄与すべき社会的責任を果たす。
- ・優れたコンシューマ製品と優れた従業員によって、培われる信用を基盤として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
 2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入
- 平成16年度に、広貫堂のヘルスケア事業部を組み入れ事業拡大を行いました。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

- ・営業部門であるヘルスケア事業部では、各ボランティア別(付随する大型小売店の直販)に担当を分け、きめの細かい営業活動を行っています。
- ・製造部門では、平成17年3月30日に第2種医薬品製造販売業許可を取得、同年5月に自社工場を廃止し、広貫堂などでの委託製造を行っております。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- ・ボランティアチェーン・グループのM&A、再編を見据えて情報を早急にキャッチし、PB製品、NB製品の商品化を推進します。
- ・NBブランドの商品化を模索し、対応出来る体制をととのえた上で、コア事業とすることにより事業基盤の強化を図ります。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ・製造販売元日本薬剂の医薬品、医薬部外品を順次製品化しております。
製造販売元日本薬剂の製品(6月末現在)
100mLドリンク・・・12アイテム

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ・4月に新入社員1名が入社し、総勢10名体制にて活動しています。
- ・ヘルスケア事業部の組織改編を行い、1部門を増やし、4部門体制とし、更にきめの細かい営業活動を行っています。
- ・新発売(4～6月)
100mLドリンク・・・2アイテム

個別業績の概況

単位: 千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	1,644,396	1,730,181	2,340,489	724,740
総資産	463,184	477,702	658,000	895,246
経常利益	29,322	50,275	107,798	46,227
当期純利益	16,322	28,675	54,177	46,227

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

人々が、健康で文化的な社会生活をしていくために必要な医薬品、医薬部外品、健康食品を提供する企業を目指します。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

①医薬品・医薬部外品の販売事業、②清涼飲料・その他食品の販売事業、③通意販売事業、④菓膳カフェ「春々堂」の運営事業、⑤廣貴堂資料館の運営事業、⑥富山空港薬局の運営事業等を展開し、より豊かな生活をサポートするパートナーとして、消費者の皆様一人一人に、私たちが厳選した商品をお届けいたします。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

- ① 主力商品のサンキリDX3000のTVCMを3月末にて中止したが、企業(CVS・スーパー)との販促企画にて定番棚の確保に努めた。
- ② 富山県らしさや製薬メーカーらしい健康を考えた商品開発を行う。
- ③ 企業(CVS・スーパー・メーカー・問屋等)とのコラボ商品の開発(PB等)を積極的に行う。
- ④ 北陸の地域企業へ積極的に斡旋等を行い、メディ商品の認知度引き上げの支援を行う。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- ① CVS展開は北陸本部と関係を密にし企画提案を行いサンキリの現状位置を確保し、中央本部への足掛かりを確保する。
- ② 一般販売店では廣貴堂コーナー作りを目標として、販売アイテム数を増やす営業活動を行う。
- ③ 食品部営業マンには担当地域・担当業態を明確にして営業活動を行う。
- ④ メディフーズ専用医薬部外品ドリンクの開発。
- ⑤ 地元北陸での、消費者への体感機会作りや、商品の露出、認知度を引き上げる作業を行い北陸商圏強化を図る。
- ⑥ 売り場で、パネルやPOPを使い広貴堂のコーナー作りを行う。
- ⑦ 富山大学、八尾町と共同開発した「おわら桑摘み茶」で市や県を巻き込み、他社製品と差別化した展開を行う。
- ⑧ 中京東海、関東、関西においては地元問屋経由で地元への流通拡大を図る。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ① サンキリDX3000の販促活動として4月10日、ファホーレ・イオン高岡にてロッキー試写会に協賛した。
- ② 楽天出店準備に入る
- ③ 静岡県の問屋ヤマキとの口座開設を行う
- ④ セーブオン全店にて医薬部外品「ファイトV」の販売を開始する。
- ⑤ ファミリーマートとの共同企画にて、サンキリDX3000の消費者キャンペーンを行った。
- ⑥ フーズインフォーマット(食品専用ネット)での営業を開始する。
- ⑦ 大塚製薬のソイジョイの取り扱いを開始する。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ① 6月12日株主総会にて下記役員が選任され、決定いたしました。
 代表取締役社長 高岡 隆志
 取締役 富士原 尚文
 取締役 小紙 司
 取締役 大野 正広

個別業績の概況

単位:千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	265,073	302,926	300,968	78,628
総資産	128,055	78,310	60,322	61,886
経常利益	-32,313	-128,610	-15,071	2,239
当期純利益	-32,386	-128,690	-15,151	2,239

(第1四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

富山のくすり廣貫堂製品の卸売販売業として、配置販売業者を通じて沖縄県民の健康長寿、疾病の予防に役立つ企業として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

- ①医薬品・医薬部外品・医療用具・化粧品・清涼飲料水の製造、販売、輸出並びに輸入
- ②食品・日用雑貨の販売、輸出並びに輸入

沖縄廣貫堂は平成16年12月にトキワ広貫堂とともに分社化し、「沖縄県民の健康を考える企業」を目指し、健康に役立つ情報の発信に取り組んでまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

平成19年は県内の配置販売業界に頼るだけでは期待もできず、食系ルートや薬系ルートへの販路を拡大しない限り生き残れないことが思い知らされました。第一四半期の売上は、減収になることを認知しての船出であり、3ヶ月間、食系・薬系のルート開拓に邁進しております。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

配置薬以外の第三の販路へ取り組む。食系は、食品問屋(株)許田商会)と交渉成立。イキDX3000を取引することになり、発注を待つのみです。第一四半期で結果を出そうとしていますが、6月中では達成できませんでした。
薬系は薬品卸問屋(株)琉薬と交渉を進めておまして、相談薬局の組織作りをして、和漢薬の勉強会を発足し、富山の和漢薬で生活習慣病予防により、長寿県日本一の回復を目的としていきます。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

登録販売者資格の検討部会が6月で終了。全国統一した試験問題の手引集・例題問題が出そろう、勉強すれば合格者60%のラインは通るだろうと資質向上に努力しています。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

ちゃーがんじゅう健康セミナー開催により、沖縄県における和漢薬普及を目指しています。

単位:千円

	平成17年度	平成18年度
六神丸	1,153	2,229
熊膽圓	1,948	9,755

個別業績の概況

単位:千円

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	65,014	201,245	182,812	35,500
総資産	103,634	65,159	73,134	58,931
経常利益	2,703	9,935	470	-1,864
当期純利益	1,733	6,345	103	-1,864

(12月~3月)

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

株式会社廣貫堂を核としたさまざまな事業領域(ドメイン)における企業および個人に対し、常に顧客の利益創出を側面から支援できる企業を目指します。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

主要な事業内容

- ①コンピュータ及びコンピュータ関連機器の販売・リース・設置工事・保守管理
- ②コンピュータソフトウェアの販売・リース・運用・保守管理
- ③情報処理及びコンピュータ利用に関するコンサルタント・教育・情報サービス事業
- ④損害保険代理業及び生命保険募集に関する業務
- ⑤広告・印刷・出版事業

上記事業を通じ、株式会社廣貫堂のコーポレートブランド拡大につながるサービスを提供してまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

事業目的達成のためにIT部門と保険部門を設け、特にIT部門においては廣貫堂内部の事業(受託事業)と外部の事業(外販事業)で考え方を大きく変えた事業運営方針を執っております。

第1四半期の業績(トピックス)は次の通りであります。

①IT受託事業

- ・通信インフラ:セキュアな状態を維持しながら公衆回線から社内インフラへのアクセス化(リモートアクセス化)を6月下旬より導入しました。(廣貫堂向け企画提案事業)
- ・eラーニングシステム:下期より社内向けにコンテンツ配信を開始する予定で6月より概要を設計しております。
- ・電子文書管理システム:情報の共有化策の一環として、全社向けに規程等の改版文書を紙から電子化へ切り替える予定で、現在運用評価中であります。
- ・薬品販売向けHPの制作:8月中旬リリースに向け、コンテンツ制作および環境整備作業を実施しております。
- ・新生産システム:一昨年から再構築作業を実施してきた当該システムの下期完全切替予定で、廣貫堂生産本部および統括業務本部と一体となって関係作業を実施しております。

②IT外販事業

- ・M社様より配置システム「懸場物語」を受注しました。8月本社導入、10月までに全社展開を推進中であります。
- ・中堅のシステムベンダー様から配置システム「懸場物語」ハンディ版に対し引き合いがあり商談を行いました。また、薬品販売(廣貫堂G)からもモバイル導入の要請があり、早急にハンディ版の開発を開始する予定です。
- ・Y社様より受注したHP制作を5月下旬に公開しました。

③保険事業

- ・医療保険分野(第3分野)にも積極的な進出を図るため、「東京海上日動あんしん生命保険会社」と代理店契約を締結しました。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- ①課題を明確化、共有化するために、5つのアカウントビリティ項目を設定し、全社員一丸となって取り組んでおります。

その実績(第1四半期)は次の通りであります。

- a. 自社開発ソフト類の販売件数を5件とする
年間の計画件数5件に対する実績件数は1件(HPコンテンツ制作)で、年間計画達成率は20%です
- b. 廣貫堂グループ以外の売上高ウエート(保険料収入全額含む)を10%超とする
4-6月までの総売上高(23,934千円)に対し外販売上高(1,909千円)であり外販売上率は8.0%です。
- c. 次期につながる顧客づくり施策の100%実行
年間の訪問件数20件に対して実施件数は1件で年間計画達成率は5.0%でした。
- d. グループ連携による損害保険事業の収入保険料を15百万円とする
年間の計画収保15,000千円に対し実績収保が4,531千円となり、年間の計画達成率は30.2%です。
- e. 効果創出につながる企画提案(弊社から廣貫堂に向けた自主提案)の計画100%実施
年間の計画件数6件に対して実施件数は1件で年間計画達成率は16.7%でした。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ①昨年より月例開催している顧客及び社員向けIT無料講習会は常に満席状況で大変高い満足度を頂いております。また、新入社員に対してもIT講習会を実施しました。(受講風景を添付)
- ②6月初旬に、富山大学の古川教授(経済学部)と学生2名が来社され、「配置におけるCRM」をテーマにディスカッションを行いました。配置右肩下がり傾向の歯止め策として、懸場物語がCRMの一翼を担うツールであることで情報の共有できました。
- ③東京海上日動火災保険と連携強化を進める中で、廃業代理店の移管を受けました。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ①6月8日の第61回定時株主総会において、以下の取締役が選任されました。
また、総会後の取締役会で代表取締役および役付取締役が氏名右欄()の通り、選定されました。
取締役 並川 雄二 (代表取締役社長)
取締役 小紙 司
取締役 中田 秀芳

個別業績の概況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	—	88,207	85,549	23,934
総資産	—	171,840	178,730	184,777
経常利益	—	3,114	-21,415	2,317
当期純利益	—	295	2,330	2,317

単位:千円

(第1四半期)

【新入社員の受講風景】

